

研究等活動実績経歴書

—NECTA法人化20周年記念版—

令和7年5月
(2025年)

一般社団法人 自然環境共生技術協会

NECTA

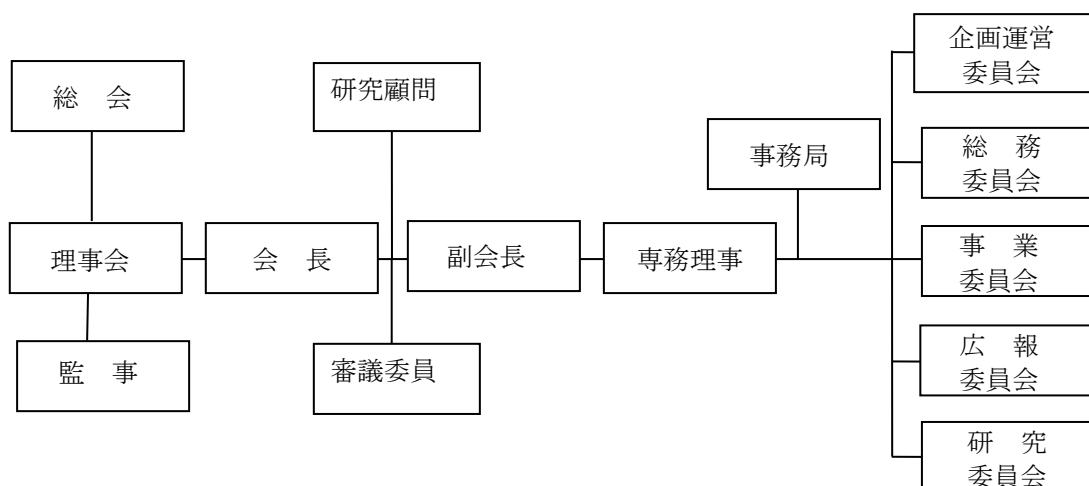
協会概要

名 称 一般社団法人 自然環境共生技術協会
設 立 平成 24 年 8 月 1 日 (社団法人化 平成 16 年 7 月)
代 表 者 会長 森本 幸裕
従業員数 2 名
事業内容 自然環境共生技術の調査・研究、技術情報の収集・蓄積・発信
事 業 所 〒103-0013
東京都中央区日本橋人形町 3-11-2 レコルテ 4F
Tel 03-6280-3722
URL <https://www.necta.jp> e-mail necta@necta.jp

沿 革

平成 6 年 (1994 年) 10 月	自然環境保全整備フォーラムを設立する。
平成 14 年 (2002 年) 8 月	自然環境共生技術フォーラムを設立し、自然環境保全整備フォーラムの調査・研究業績を承継する。
平成 16 年 (2004 年) 7 月	社団法人自然環境共生技術協会設立を環境省より認可される。 自然環境共生技術フォーラムの調査・研究業績を承継する。
平成 24 年 (2012 年) 7 月	内閣府から一般社団法人自然環境共生技術協会への移行が認可される。
平成 24 年 (2012 年) 8 月	一般社団法人自然環境共生技術協会へ移行する。

組 織 図



役員等

令和7年4月1日現在

五十音順（全員非常勤）

I. 理事

会長	森本 幸裕	京都大学名誉教授
副会長	下村 彰男	國學院大学教授
副会長	石濱 賢二	(株) ニュージェック 常務取締役技術本部長
副会長	黒崎 靖介	日本工営(株) 代表取締役専務執行役員
専務理事	市原 信男	アジア航測(株) 顧問
理事	上杉 哲郎	(株) 日比谷アメニス 取締役環境緑花研究室長
理事	臼杵 伸浩	アジア航測(株) 常務取締役事業推進本部長
理事	大嶋 聡	西武造園(株) 取締役社長
理事	梶井 公美子	パシフィックコンサルタンツ(株) 技師長
理事	杉尾 大地	(株) ブレック研究所 代表取締役社長
理事	関根 秀明	(株) 建設技術研究所 執行役員 中部支社長
理事	田畑 彰久	いであ(株) 代表取締役社長
理事	鳥居 敏男	(一財) 自然公園財団 専務理事
理事	中山 敬邦	八千代エンジニアリング(株) 執行役員 事業統括本部副本部長
理事	新島 俊哉	(一財) 日本緑化センター 専務理事
理事	山瀬 一裕	(一財) 自然環境研究センター 参与

(16名)

II. 監事

監事	朝倉 靖	税理士法人イデアパートナーズ 税理士
監事	金 秀俊	(株) ドーコン 常務執行役員
監事	杉本 吉正	(株) ザイエンス 取締役 部長

(3名)

III. 審議委員

審議委員	岡本 正男	(一社) 全国治水砂防協会 副会長
審議委員	沢田 治雄	(公財) 国際緑化推進センター 理事長
審議委員	内藤 正彦	(公財) リバーフロント研究所 業務執行役兼企画グループ長
審議委員	柳野 良明	(公財) 都市緑化機構 専務理事
審議委員	高吉 晋吾	(公社) 全国漁港漁場協会 会長

(5名)

IV. 研究顧問

研究顧問	島谷 幸宏	熊本県立大学特別教授 九州大学特命教授(河川工学)
研究顧問	中村 太士	北海道大学名誉教授(森林管理保全学)
研究顧問	鷲谷 いづみ	東京大学名誉教授(保全生態学)
研究顧問	日置 佳之	鳥取大学名誉教授 特任教授(生態工学)

(4名)

主な活動

1. 自然環境共生技術に関する調査・研究

自然環境共生に関する総合的、実践的技術の集積・確立、自然再生に関する順応的管理手法の考え方に基づく技術の集約と研究開発、生物多様性保全の取組を推進するための生態系ネットワークに関する技術の研究開発、自然とのふれあいに関する調査研究等を行います。

また、東日本大震災の復興へ向けた自然再生や自然公園施設整備等の技術の活用等について研究開発を行います。

2. 自然環境共生技術に関する技術力の向上と育成

自然環境共生技術に関する講習会、セミナーなどを開催し、講演録を会員に配布して、自然環境共生技術に係る技術者の育成と技術力の向上を図ります。

また、関連する資格取得を目指す方のために、受験講習会を開催します。

平成 30 年度以降は、環境省との共催で自然環境共生技術研究会（CoNECT）を開催し、研究発表、意見交換等により官民の技術交流を図っています。

3. 自然環境共生技術に関する国内外の情報収集及び国際協力の推進

自然環境共生技術に関する国内及び国外における情報の収集及び提供、自然環境共生技術に関する国際協力、会報及び図書の刊行などを行います。

活動実績

1. シンポジウム・講演会・研修会・勉強会等開催実績（P. 4）
2. 技術セミナー開催実績（P. 15）
3. 自然環境共生技術研究会（CoNECT）開催実績＜環境省・NECTA 共催＞（P. 18）
4. 調査研究活動等実績（P. 20）
5. 報告書・講演録・資料集等発行実績（P. 25）
6. NECTA 技術情報＜自然公園財団「国立公園誌」連携＞2015 年～（P. 28）

1. シンポジウム・講演会・研修会・勉強会等開催実績

(自然環境共生技術フォーラム設立以降)

行事	開催日	テーマ等	講師	開催場所
セミナー	平成 14 年 10 月 9 日	「自然再生事業について」	亀澤玲治課長補佐	弘済会館
講演会	平成 14 年 12 月 18 日	「港湾における環境への取り組み」 「多自然型河川と国土保全」	栢原英郎理事 高橋裕会長	学士会館
講演会	平成 15 年 2 月 4 日	「保全生態学の考え方・生態系保全 の実施例とその課題」 「農業農村整備における循環への 取り組み」	鷺谷いづみ理事 中道宏理事	学士会館
講演会	平成 15 年 3 月 18 日	「私の考える自然環境共生技術」 「都市再生と屋上緑化」	田畑茂清理事 興水肇理事	学士会館
講演会	平成 15 年 4 月 11 日	「資源循環型社会と森林」 「自然再生事業の調査計画論-目標 と評価の視点から-」	塚本隆久理事 中村太士理事	学士会館
講習会	平成 15 年 4 月 24 日	平成 15 年度技術士第一次・第二次 試験講習会	事業委員会	学士会館
現地視察	平成 15 年 6 月 21 日	釧路湿原自然再生事業現地見学会	事務局	釧路湿原
講演会	平成 15 年 6 月 26 日	「都市緑化と屋上緑化」 「自然再生事業と NGO の役割-NGO 私論-」 「自然公園と自然再生」	五十嵐誠理事 山瀬一裕理事 瀬田信哉理事	学士会館
現地視察	平成 15 年 9 月 16・17 日	サロベツ原野自然再生事業現地見 学会	事務局	サロベツ 湿原
勉強会	平成 15 年 9 月 29 日	各省庁における自然再生の施策 水産庁 国土交通省（港湾局） 環境省（自然環境局）	中津達也課長補佐 宮崎祥一課長補佐 安部伸治課長補佐	法曹会館
勉強会	平成 15 年 9 月 30 日	各省庁における自然再生の施策 林野庁 農林水産省（農村振興局） 環境省（自然環境局）	池田直弥課長補佐 田中卓二課長補佐 則久雅司専門官	新宿御苑インフ ォメーションセンター
勉強会	平成 15 年 10 月 1 日	各省庁における自然再生の施策 国土交通省（都市・地域整備局） 国土交通省（河川局）	加藤順子課長補佐 板屋英治課長補佐 宮武晃司課長補佐	霞山会館
現地研修 会	平成 15 年 10 月 22 日	丹沢地区登山道	自然公園等研究会	丹沢
講演会	平成 16 年 1 月 26 日	「河川管理と環境」 「環境省の取り組みの現状と平成 16 年度予算」	鈴木藤一郎*1 植田明浩課長補佐	新宿御苑インフ ォメーションセンター
講演会	平成 16 年 3 月 29 日	「沿岸環境 新生と再生の半世紀」 「河川環境の保全と新たな自然創 出へのとりくみ（荒川太郎右衛門地 区自然再生事業について）」	酒匂敏次*2 新井正*3	学士会館

講習会	平成 16 年 4 月 23 日	平成 16 年度技術士第二次試験講習会	事業委員会	協会会議室
シンポジウム	平成 16 年 9 月 6 日	「自然と共生する社会づくり—自然再生事業の実践的課題と展望—」 研究発表 基調講演 パネル討論	高橋裕会長 小林光*4 砂川孝志理事 塚本吉雄*5 中道宏理事 中村太士理事 鷺谷いづみ理事	発明会館 ホール
技術交流会	平成 16 年 10 月 26 日	清水建設株式会社技術研究所 屋上ビオトープ	事業委員会	清水建設 技術研究所
現地研修会	平成 16 年 11 月 16・17 日	裏磐梯地区歩道等ふれあい施設	自然とのふれあい 技術研究会	裏磐梯
勉強会	平成 17 年 3 月 2 日	「順応的管理手法に基づく自然再生事業の進め方と社会的評価及び生態系評価の考え方」 「自然再生事業における社会的評価及び生態系評価のあり方」	中村太士理事 佐藤洋平理事	学士会館
講演会	平成 17 年 3 月 7 日	「水産関係事業における環境整備について」 「環境省の取り組みの現状と平成 17 年度予算」	坂井淳理事 黒田大三郎課長	新宿御苑インフォメーションセンター
勉強会	平成 17 年 3 月 15・16 日	「釧路湿原自然再生事業」 「阿蘇の草原再生事業」 「サロベツ湿原再生事業」 「大台ヶ原自然再生事業」	鳥居敏男次長 新井正久所長 青山銀三所長 亀澤玲治所長	新宿御苑インフォメーションセンター
講習会	平成 17 年 4 月 22 日	平成 17 年度技術士第二次試験講習会	事業委員会	協会会議室
講演会	平成 17 年 5 月 20 日	「京都御所見学」 「コウノトリの野生復帰の現状」 「琵琶湖・淀川水系の自然保護と再生を指して」 「大台ヶ原における自然再生について」	下均所長 大迫義人*6 谷田一三*7 亀澤玲治所長	京都御所 京都平安 会館
講演会 (特別)	平成 17 年 9 月 15 日	「自然と人間の共生型文明社会をめざして」	安田喜憲*8	弘済会館
現地視察	平成 17 年 9 月 27・28 日	兵庫県コウノトリの郷公園・ 円山川流域自然再生事業現地見学会	事務局	コウノトリ の郷公園 豊岡市 円山川流域
現地視察	平成 17 年 9 月 29 日	樫野川自然再生事業現地見学会	事務局	樫野川流域
技術発表会	平成 17 年 11 月 2 日	「自然と共生する社会づくり」 研究成果発表 パネルディスカッション	高橋裕会長 中村太士理事 宮下直*9 阿部宗広課長	弘済会館
現地研修会	平成 17 年 10 月 25 日	中部山岳国立公園上高地地区歩道等ふれあい施設	自然とのふれあい 技術研究会	上高地

講演会	平成 17 年 11 月 25 日	「ちば環境再生基金の仕組みと成果」 「谷津ミュージアム事業について」 「市民からみた谷津ミュージアム事業について」 「環境省地方環境事務所について」	和田博之*10 大畑照幸*11 染谷迪夫*12 植田明浩統括自然保護企画官	新宿御苑インフォメーションセンター
講演会	平成 18 年 2 月 17 日	「外来生物対策に係る制度の概要」 「外来生物対策の事例—アライグマ防除実施計画の策定—」 「緑化事業における外来植物の取扱方」	堀上勝課長補佐 佐藤きさい*13 藤原宣夫*14	新宿御苑インフォメーションセンター
講習会	平成 18 年 6 月 2 日	平成 18 年度技術士第二次試験講習会	事業委員会	協会会議室
講演会	平成 18 年 8 月 3 日	「民衆のために生きた土木技術者たち」	高橋裕会長	新宿御苑インフォメーションセンター
現地研修会	平成 18 年 11 月 14 日	日光国立公園奥日光地区自然公園内施設の維持管理、安全管理	自然とのふれあい技術研究会	奥日光
シンポジウム	平成 18 年 11 月 22 日	「自然との共生する社会づくり—人と自然とのかかわり—」 基調講演 パネル討論	瀬田信哉理事 高橋裕会長 金澤寛*15 興水肇理事 佐藤洋平理事 喜多弘理事	発明会館ホール
講演会	平成 19 年 1 月 22 日 ～23 日	「河川における自然再生関連施策の概要」 「港湾における自然再生関連施策の概要」 「都市・緑地における自然再生関連施策の概要」 「自然再生と農林水産省の取り組み」	原田昌直課長補佐 長瀬和則課長補佐 木村郁実緑化推進係長 茂田剛企画係長	新宿御苑インフォメーションセンター
講演会	平成 19 年 2 月 22 日	「環境省の業務概要と平成 19 年度予算」 「自然再生事業の進展状況」	渡邊綱男課長 難波和聡課長補佐	新宿御苑インフォメーションセンター
現地視察	平成 19 年 2 月 28 日	鹿児島地区自然再生事業等視察会	事務局	鹿児島地区
現地研修会	平成 19 年 5 月 24 日	自然再生事業見学会	研究委員会	阿蘇高原
講習会	平成 19 年 6 月 1 日	平成 19 年度技術士第二次試験講習会	事業委員会	協会会議室
講演会 (特別)	平成 19 年 9 月 20 日	「エコロジカル・ネットワークと連環学」	森本幸裕理事	弘済会館
野外セミナー	平成 19 年 10 月 12 日	「川・田んぼ・内湖とヨシ—Mother Lake21」	西川嘉廣*16 河瀬登*17 今井紘一*18	琵琶湖周辺
現地研修会	平成 19 年 11 月 27 日	高尾国定公園内屋外施設（木製、木製以外、植栽）など	自然とのふれあい技術研究会	高尾山

シンポジウム (東京)	平成 19 年 11 月 30 日	「自然再生事業ガイドラインの概要」 基調講演 パネルディスカッション	中村太士理事 高橋裕会長 興水肇理事 鷺谷いづみ理事 渡邊綱男環境省 自然環境計画課長	発明会館ホール
シンポジウム (大阪)	平成 19 年 12 月 10 日	「自然再生事業ガイドラインの概要」 基調講演 パネルディスカッション	中村太士理事 高橋裕会長 大迫義人*6 難波和聡環境省 自然環境計画課課長補佐 森本幸裕理事	大阪科学技術センター
講演会	平成 20 年 3 月 10 日	「第三次生物多様性国家戦略」と 「平成 20 年度環境省自然環境局の施策」	渡邊綱男課長	新宿御苑インフォメーションセンター
講習会	平成 20 年 6 月 6 日	平成 20 年度技術士第二次試験講習会	事業委員会	協会会議室
現地視察	平成 20 年 9 月 16 日	知床・標津川自然再生事業視察会	事務局	知床・標津川地区周辺
講演会 (特別)	平成 20 年 9 月 25 日	「自然再生が意味するもの」	小野寺 浩*19	弘済会館
野外セミナー	平成 20 年 10 月 17 日	「霞ヶ浦の環境保全対策と自然再生」	岸上 仁*20 鴨川 慎*21	霞が浦周辺
野外セミナー	平成 20 年 11 月 4 日	「自然の森再生」	森本幸裕理事	千里万博公園
現地研修会	平成 20 年 11 月 5・6 日	上信越高原国立公園内野営場施設、運営	自然とのふれあい技術研究会	万座・浅間
講演会	平成 21 年 2 月 26 日	「生物多様性条約 COP10 に向けた取り組み」 「関東地方環境事務所の自然公園等整備事業の取り組み」	徳丸久衛生物多様性地球戦略企画室長 関根達郎統括自然保護企画官	新宿御苑インフォメーションセンター
講習会	平成 21 年 6 月 5 日	平成 21 年度技術士第二次試験講習会	事業委員会	協会会議室
講演会 (特別)	平成 21 年 6 月 17 日	「自然環境共生技術と開発」	高橋裕名誉会長	弘済会館
講演会 (特別)	平成 21 年 9 月 15 日	「熱帯林の現状と環境」	佐々木恵彦理事	弘済会館
現地研修会	平成 21 年 11 月 5・7 日	森林セラピー基地、信越トレイルの運営	自然とのふれあい技術研究会	なべくら高原・斑尾高原
野外セミナー	平成 21 年 11 月 13 日	「身近な水辺の自然環境の保全・創造」	板垣範彦*22 小野寺健*23 佐藤 力*24	水元公園水産試験場跡地
関西地区報告会	平成 21 年 12 月 4 日	広域的視点に基づく自然再生のあり方検討業務	赤土 攻理事 中西 収研究員 池田欣子研究員 松原徹郎研究員	(株)ニュージェック
講演会	平成 22 年 2 月 23 日	「トキの野生復帰と地域づくり」	島谷幸宏理事 岩 浅友記環境省	新宿御苑インフォメーションセンター

			自然環境局国立公園課計画第一係長 千田純子新宿御苑管理事務所 安齋友巳*25	ー
講習会	平成 22 年 6 月 4 日	平成 22 年度技術士第二次試験講習会	事業委員会	協会会議室
講演会	平成 22 年 7 月 29 日	「北海道地方環境事務所における環境行政について」	吉井雅彦環境省北海道地方環境事務所長	札幌エルフラザ環境研修室
講演会 (特別)	平成 22 年 9 月 16 日	「干潟の再生技術の状況」	細川恭史理事	弘済会館
現地研修会	平成 22 年 11 月 5・6 日	埼玉県「水源の道(川又～棒ノ嶺)」、東京都「山草の道(棒ノ嶺～奥茶屋キャンプ場)」、長距離自然歩道「杉の木陰道」	自然とのふれあい技術研究会	埼玉県「水源の道」・東京都「山草の道」、「杉の木陰道」
講演会	平成 22 年 11 月 16 日	「都市の生物多様性ーポスト COP10 の取組みに向けて」	森本幸裕副会長	新宿御苑インフォメーションセンター
講習会	平成 23 年 6 月 3 日	平成 23 年度技術士第二次試験講習会	事業委員会	協会会議室
講演会 (特別)	平成 23 年 6 月 15 日	「東日本大震災の教訓」	高橋 裕 名誉会長	弘済会館
講習会 (特別)	平成 23 年 9 月 16 日	「知床、小笠原から琉球へ～世界遺産に向けて」	渡邊綱男環境省自然環境局長	TKP 東京カンファレンスセンター
野外研修会	平成 23 年 10 月 14 日	「秋の芦生の森を訪ねる」	事業委員会関西地区有志メンバー	京都大学芦生研究林
現地研修会	平成 23 年 11 月 25～26 日	田貫湖ふれあい自然塾、コテージ及び野外施設の現況視察、東海自然歩道(小田貫湿原、陣馬の滝・猪之頭～麓っぱら)の概査	自然とのふれあい技術研究会	田貫湖、東海自然歩道
講演会	平成 23 年 12 月 16 日	「東日本大震災後の東北地方環境事務所の取組み」	環境省東北地方環境事務所西村 学 総括自然保護企画官、同草川祐介廃棄物・リサイクル対策課長、同大沼次郎野生生物課長	仙台市情報・産業プラザ(ネ！ットU)
研究発表会	平成 23 年 8 月 29 日	「自然再生事業の評価手法に関する研究ー釧路湿原を例としてー」 「企業による森林再生・活用のあり方ー飯能・西武の森の取組み事例からー」 「長距離自然歩道標識整備調査」	自然再生技術研究会、生物多様性保全技術研究会、自然とのふれあい技術研究会	(一社)自然環境共生技術協会(NECTA)会議室
野外セミナー	平成 24 年 5 月 31 日～6 月 1 日	佐渡・トキを中心した自然再生の取組み	環境省佐渡自然保護官事務所長田啓 首席自然保護官 新潟県佐渡地域振興局高橋秀典計画	新潟県佐渡市

			調整課長、二村健 一農村整備課課長 代理 佐渡市渡辺竜五農 林水産課長 東京工業大学桑子 研究室高田知紀氏	
講習会	平成 24 年 6 月 8 日	平成 24 年度技術士第二次試験講習 会	事業委員会	協会会議室
講演会 (特別)	平成 24 年 9 月 19 日	「東北、奄美、国立公園」	小野寺浩 元環境 省自然環境局長	弘済会館
野外研修 会	平成 24 年 10 月 19 日	京都市「いのちの森」のビオトープ、 サントリー山崎蒸留所の環境保全 事例を見学		
野外セミ ナー	平成 24 年 11 月 1 日	日光国立公園「那須平成の森」ビジ ターセンター及びフィールドセン ター視察、有料プログラム参加（自 然解説型ガイドウォーク）	環境省関東地方環 境事務所那須自然 保護官事務所 柘 植自然保護官	栃木県那須 市
報告会	平成 25 年 1 月 30 日	CBDCOP11 NECTA 代表団報告会	NECTA 代表団 森本幸裕副会長	新宿御苑イン フォメーションセンタ ー
講習会	平成 25 年 4 月 16 日、 同 6 月 7 日	平成 25 年度技術士第二次試験講習 会	事業委員会	協会会議室
講演会 (特別)	平成 25 年 6 月 11 日	「生物多様性国家戦略 2012-2020」 と今後の課題ーめぐみの星に生き る	環境省大臣官房審 議官 星野一昭 氏	弘済会館
講 演 会 (特別)	平成 25 年 9 月 18 日	「砂防の役割」	岡本正男 砂防学 会会長・全国治水 砂防協会理事長	弘済会館
野外セミ ナー	平成 25 年 11 月 6 日	谷津干潟及び谷津干潟自然観察セ ンター視察	環境省関東地方環 境事務所野生生物 課 荻部広域鳥獣 保護官理専門官	千葉県習志 野市
野外研修 会	平成 25 年 11 月 15 日	春日山原始林の観察	前迫ゆり 大阪産 業大学大学院教授	奈良市春日 山
現地研修 会	平成 25 年 11 月 1、2 日	裏磐梯休暇村浄土平ビジターセン ター	自然とのふれあい 技術研究会	休暇村裏磐 梯
講 演 会 (記念)	平成 26 年 5 月 30 日	「世界に見る国立公園と自然保護 地域の発展」	油井正昭 千葉大 学名誉教授	新宿御苑イン フォメーションセンタ ー
講習会	平成 26 年 6 月 6 日	平成 26 年度技術士第二次試験講習 会	事業委員会	協会会議室
講 演 会 (特別)	平成 26 年 6 月 17 日	「森林飽和 国土の変貌を考える」	太田猛彦 東京大 学名誉教授	弘済会館
講 演 会 (特別)	平成 26 年 9 月 24 日	「再生可能エネルギーの活用につ いて」	土居健太郎 環境 省地球環境局地球 温暖化対策課長	弘済会館

野外セミナー	平成 26 年 10 月 16 日	富良野自然塾（東京校）体験及び国 営昭和記念公園見学	赤土正浩 西武造 園(株) 管理運営事 業本部 部長	東京都立川 市
講演会	平成 26 年 10 月 28 日	「自然環境施策の動きについて」	山本麻衣 環境省 自然環境計画課課 長補佐	新宿御苑イン フォメーションセンタ ー
研究発表 会	平成 26 年 10 月 28 日	自然再生技術研究会「地球環境基金 の平成 25 年度活動から」、生物多様 性技術研究会「飯能の森等での研 究、「評価」について」、ふれあい技 術研究会「海と自然とのふれあい研 究」、「施設長寿命化の研究」、「自然 公園等における木道整備に関する 技術基準」	自然再生技術研究 会、生物多様性技 術研究会、ふれあ い技術研究会	新宿御苑イン フォメーションセンタ ー
現地研修 会	平成 26 年 12 月 12 日	奥多摩ビジターセンター及び御岳 ビジターセンター	自然とのふれあい 技術研究会	
シンポジ ウム	平成 27 年 5 月 18 日	NECTA10 周年記念シンポジウム 「自然再生と地域づくり」－個性と 魅力ある「ふるさと」の自然を取り 戻す－ 【第 1 部】講演：自然再生の新たな 展開に向けて 【第 2 部】パネルディスカッション： 自然再生と地域づくり	進士五十八氏*26 及川ひろみ氏*27 浜本奈鼓氏*28 浜本 麦氏*29 木村吉寿氏*30 興水 肇 会長 森本幸裕 副会長 三橋弘宗氏*31 大石守伸氏*32 鳥居敏男氏*33	日本消防会 館
講習会	平成 27 年 5 月 22 日	平成 27 年度技術士第二次試験講習 会	事業委員会	協会会議室
講演会 (特別)	平成 27 年 6 月 16 日	第二次大戦後の水害と治水（国際 科学技術財団 第 31 回日本国際賞 Japan Prize 受賞記念）	高橋 裕 名誉会 長	弘済会館
講演会	平成 27 年 9 月 15 日	「つなげよう、支えよう森里川海プ ロジェクト」	鳥居 敏男*34	弘済会館
野外セミ ナー	平成 27 年 11 月 5～6 日	「山陰海岸・コウノトリを中心と した自然再生の取り組み」兵庫県 立コウノトリの郷公園 猫崎半 島・休暇村竹野海岸エリア・竹野ス ノーケルセンター	コウノトリの郷公 園 西井喜久氏、 兵庫県立大学 大 迫義人氏、環境省 篠崎さえか自然保 護官	兵庫県
講習会	平成 28 年 5 月 20 日	平成 28 年度技術士第二次試験講習 会	事業委員会	協会会議室
講演会 (特別)	平成 28 年 6 月 15 日	「人口減少、気候変動下における グリーンインフラ－生物多様 性・防災・社会的価値評価－」	中村 太士 研究 顧問	弘済会館
講演会 (特別)	平成 28 年 9 月 14 日	「自然環境行政の最新動向につい て」	亀澤 玲治*35	弘済会館

野外セミナー	平成 28 年 11 月 17 日	「箱根ジオパーク・箱根火山をベースとした自然環境保護・保全の取り組み」箱根ビジターセンター、仙石原湿原、大湧谷、大観山	環境省箱根自然環境事務所 小口事務所長、山岸自然保護官、吉田環境技官	箱根
講習会	平成 29 年 5 月 26 日	平成 29 年度技術士第二次試験講習会	事業委員会	協会会議室
講演会 (特別)	平成 29 年 6 月 13 日	「ESD から SDGs へ～環境教育的視座で 21 世紀の今を俯瞰する」	若林 千賀子*36	弘済会館
講演会 (特別)	平成 29 年 9 月 14 日	「自然環境分野における気候変動適応について」	中澤 圭一*37	弘済会館
野外セミナー	平成 29 年 11 月 22 日	「日光国立公園満喫プロジェクトー世界水準のナショナルパークをめざした取り組み」	環境省日光国立公園事務所 北橋義明所長、鈴木祥之自然公園保護管理企画官	日光湯元ビジターセンター及び日光湯元地区
講習会	平成 30 年 5 月 25 日	平成 30 年度技術士第二次試験講習会	事業委員会	協会会議室
講演会 (特別)	平成 30 年 6 月 11 日	「サルはなぜ山を下りる？野生動物との共生」	室山 泰之*38	弘済会館
講演会 (特別)	平成 30 年 9 月 11 日	「自然環境行政の最新動向について」	鳥居 敏男*39	弘済会館
野外セミナー	平成 30 年 11 月 15～ 16 日	「伊勢志摩国立公園の満喫プロジェクトと自然環境保護活動の取り組み」	環境省中部地方環境事務所志摩自然保護官事務所 内田国立公園保護管理企画官、鳥羽水族館若井副館長・三谷学芸員	伊勢志摩国立公園横山園地、鳥羽水族館等
意見交換会	平成 30 年 12 月 3 日	平成 31 年度予算と重点施策の概要	自然環境計画課、野生生物課、国立公園課、自然環境整備課	虎ノ門ハロー会議室
講習会	令和元年 5 月 24 日	令和元年度技術士第二次試験講習会	事業委員会	協会会議室
講演会 (特別)	令和元年 6 月 18 日	「自然再生とその人材育成」	日置 佳之*40	弘済会館
講演会 (特別)	令和元年 9 月 17 日	「自然環境行政の最新動向について」	鳥居 敏男*41	弘済会館
野外セミナー	令和元年 11 月 14 日 ～15 日	「みちのく潮風トレイル及び周辺施設」	東北地方環境事務所、日造協会、東北学院大学 平吹先生、日比谷アメニス 坂本所長	東北
意見交換会	令和元年 12 月 4 日	令和 2 年度予算要望の概要	環境省自然環境計画課 野生生物課、環境計画課、生物多様性戦略推進	虎ノ門ハロー会議室

			室、国立公園課、野生生物課鳥獣保護管理室	
講習会	令和2年5月29日	令和2年度技術士第二次試験講習会	事業委員会	協会会議室（オンライン開催）
野外セミナー	令和2年12月2日	「京都で展開する新しい雨庭」	京都市動物園、京都市建設局みどり政策推進室	京都
意見交換会	令和2年12月11日	令和3年度予算要望の概要	環境省自然環境計画課、国立公園課、自然環境整備課、野生生物課、生物多様性戦略推進室、生物多様性主流化室	オンライン開催
講習会	令和3年5月28日	令和3年度技術士第二次試験講習会	事業委員会	協会会議室（オンライン併用）
講演会（特別）	令和3年8月16日	「2022年の自然公園-公園法改正、アフターコロナ、ポスト2020」	愛甲 哲也*42	オンライン開催
講演会（特別）	令和4年1月18日	「自然環境行政の最新動向について」	奥田 直久*43	オンライン開催
意見交換会	令和4年1月18日	環境省自然環境局関連令和4年度予算と重点施策	生物多様性戦略推進室、国立公園課、野生生物課、自然環境整備課	オンライン開催
講習会	令和4年5月27日	令和4年度技術士第二次試験講習会	事業委員会	オンライン開催
野外セミナー	令和4年6月3日	MT. FUJISATOYAMA VACATION & 静岡富士山世界遺産センター	和久井 涼*44	静岡
講演会（特別）	令和4年6月7日	「最近の自然環境保全（ふれあいを含む）の動向について」	下村 彰男*45	オンライン開催
講演会（特別）	令和4年9月14日	「自然環境行政の最新動向について」	堀上 勝*46	オンライン開催
野外セミナー	令和4年12月6日	パナソニック草津工場「共存の森」、琵琶湖システム・滋賀県立琵琶湖博物館、草津市立水生植物公園みずの森	中野隆弘氏*47 渡邊麻美氏*48 中井大介氏*49	滋賀県草津市

意見交換会	令和5年1月18日	COP15 結果報告及び令和5年度環境省重点説明 令和5年度環境省自然環境関係予算案概要説明 官民意見交換	＜自然環境局＞総務課、自然環境計画課、生物多様性センター、国立公園課、自然環境整備課、野生生物課 ＜水・大気環境局＞水環境課、閉鎖性海域対策室	オンライン開催
講習会	令和5年5月26日	令和5年度技術士第二次試験講習会	事業委員会	オンライン開催
講演会（特別）	令和5年6月7日	「復活した希少ガンと共生した水田農業がめざす、湿地機能の向上」	呉地正行*50	航空会館、オンライン開催
講演会（特別）	令和5年9月12日	「環境行政の最新動向について」	則久雅司*51	航空会館 オンライン併用
野外セミナー	令和5年12月4日～5日	自然共生サイト「君津グリーンセンター&大手町タワー」	内山緑地建設(株) 東京建物(株)	千葉君津市 東京大手町
意見交換会	令和6年1月19日	令和6年度環境省重点・自然環境関係予算案概要説明及び官民意見交換	＜自然環境局＞自然環境計画課、国立公園課、自然環境整備課、野生生物課	オンライン開催
講演会（特別）	令和6年5月22日	「気候変動とグリーンインフラ・ネイチャーポジティブの主流化」	中村太士*52	航空会館 オンライン併用
講習会	令和6年5月27日	令和6年度技術士第二次試験講習会	事業委員会	オンライン開催
講演会（特別）	令和6年9月18日	「自然環境行政の最新動向」	番匠克二*53	航空会館 オンライン併用
野外セミナー	令和6年11月20日	自然共生サイト「なごや東山の森」	なごや東山の森・平和公園くらしの森（説明：名古屋市環境企画課房村係長） 東山動植物園	愛知県 名古屋市

- 注) *1 (財) 河川環境管理財団 理事長
*2 東海大学海洋土木課 教授
*3 国土交通省関東地方整備局荒川上流河川事務所 建設専門官
*4 (財) 自然環境研究センター 副理事長
*5 (社) 自然環境共生技術協会
*6 兵庫県立コウノトリの郷公園 主任研究員
*7 大阪府立大学総合科学部 教授

- *8 国際日本文化研究センター 教授
- *9 東京大学大学院 助教授
- *10 (財)千葉県環境財団環境再生基金 チームリーダー
- *11 我孫子市環境生活部 主査長
- *12 谷津ミュージアムの会運営委員
- *13 神奈川県環境農政部緑政課野生生物班 主幹
- *14 愛知県建設部公園緑地課 公園監
- *15 (財)港湾空間高度化環境研究センター 理事長
- *16 ヨシ博物館館長
- *17 滋賀県琵琶湖環境部琵琶湖再生課参事
- *18 (財)滋賀県公園・緑地センター理事長兼企画員
- *19 鹿児島大学学長補佐
- *20 国土交通省関東地方整備局霞ヶ浦河川事務所 湖沼環境課長
- *21 国土交通省関東地方整備局霞ヶ浦河川事務所 調査課長
- *22 (株)愛植物設計事務所
- *23 (株)武蔵野種苗園
- *24 (株)愛植物設計事務所
- *25 (財)自然環境研究センター 第三研究部長
- *26 東京農業大学名誉教授・自然再生専門家会議委員長
- *27 NPO 法人穴塚の自然と歴史の会(茨城県土浦市) 理事長
- *28 NPO 法人くすのき自然館(鹿児島県始良市) 代表理事
- *29 NPO 法人くすのき自然館(鹿児島県始良市) 専門研究員
- *30 環境省自然環境局自然環境計画課課長補佐
- *31 兵庫県立人と自然の博物館主任研究員
- *32 巴川流域麻機遊水地自然再生協議会(静岡市) 事務局
- *33 環境省自然環境局自然環境計画課長
- *34 環境省自然環境局自然環境計画課長
- *35 環境省自然環境局長
- *36 若林環境教育事務所代表
- *37 環境省自然環境局自然環境計画課生物多様性戦略推進室長
- *38 東洋大学経営学部教授
- *39 環境省大臣官房審議官
- *40 鳥取大学農学部教授
- *41 環境省自然環境局長
- *42 北海道大学大学院農学研究院 准教授
- *43 環境省自然環境局長
- *44 (一社)エコロジック
- *45 國學院大学教授(NECTA 副会長)
- *46 環境省自然環境局自然環境計画課長
- *47 パナソニック株式会社総務部
- *48 滋賀県農政水産部
- *49 草津市立水生植物公園みずの森 所長
- *50 日本雁を保護する会 会長
- *51 環境省自然環境局自然環境計画課長
- *52 北海道大学名誉教授(NECTA 研究顧問)
- *53 環境省自然環境局自然環境計画課長

2. 技術セミナー開催実績

年度・回	開催日・場所	技術テーマ	講師
平成 27 (試行回)	H28/5/17 NECTA 会議室	①森里川海プロジェクトについて ②東日本大震災後の東北太平洋沿岸 自然環境モニタリング結果について	①岡野隆宏（自然環境計画 課保全再生調整官） ②市橋理（アジア航測）
平成 28 第 1 回	H28/10/6 NECTA 会議室	森里川海をつなぎ、支えていくために（提言）	奥田直久（自然環境計画課 長）
平成 28 第 2 回	H28/11/10 NECTA 会議室	多様化する野生生物問題	中島慶二（IGES 東京事務所 長、元野生生物課長）
平成 28 第 3 回	H28/12/9 NECTA 会議室	①ミゾゴイ保護の進め方 ②チュウヒ保護の進め方	①萩原陽二（いであ） ②中山文仁（自然研）
平成 28 (新春セ ミナー)	H29/1/25 TKP 新橋内幸 町会議室	①国立公園満喫プロジェクトの概要 説明 ②各地区協議会で策定された『ステ ップアッププログラム 2020』の紹介	岡本光之（国立公園課長） 吉田一博（自然環境整備課 長） 堀内洋（国立公園利用推進 室長） 笹渕紘平（国立公園課）
平成 29 (特別セ ミナー)	H29/7/5 NECTA 会議室	『国立公園満喫プロジェクト』のそ の後の展開	笹渕紘平（国立公園課） 谷垣佐智子（利用推進室） 大林圭司（自然環境整備課） 千田智基（自然環境整備課）
平成 29 第 1 回	H29/10/5 NECTA 会議室	<自然等の地域資源を活かした温泉 地の活性化に向けて> ①『新・湯治』の推進-温泉地の活性 化- ②温泉地と火山ガス-安全な利用へ- ③余剰温泉熱の地域での活用	①山本麻衣（温泉地保護利 用推進室長） ②岩田彰隆（アジア航測） ③酒井学（プレック）
平成 29 第 2 回	H29/11/7 NECTA 会議室	『絶滅のおそれのある野生動植物の 種の保存に関する法律』の改正内容 と今後の対応について	番匠克二（希少種保全推進 室長）
平成 29 第 3 回	H29/12/4 NECTA 会議室	①自然環境情報の活用について ②H30 再エネ導入のための情報整備 事業について ③環境アセスデータベース（EADAS） 作成／利用の立場から	①川越久史（生物多様セン ター長） ②熊倉基之（環境影響評価 課長） ③水谷義明（アジア航測）
平成 30 第 1 回	H30/10/12 NECTA 会議室	①国立公園満喫プロジェクトの今後 の進め方 ②国立公園満喫プロジェクトの事例 紹介	①滝澤玲子（国立公園課専 門官） ②湯浅知也（日本工営）
平成 30 第 2 回	H30/11/16 NECTA 会議室	①外来生物侵入の早期発見、防除に ついて ②外来アリ対策のスピード感 ③外来生物情報と環境・造園コンサル タント	①八元綾（外来生物対策室） ②森英章（自然研） ③村田和彦（プレック）

平成 30 第 3 回	H30/12/10 NECTA 会議室	①気候変動適応に関する調査研究の動向について ②NECTA『気候変動適応に寄与する技術・事例集』について	①池本忠弘（地球環境局気候変動適応室長補佐） ②市原信男（NECTA 研究委員長）
令和元 第 1 回	R1/10/17 NECTA 会議室	＜自然保護地域のこれからの保護と利用のあり方＞ ①自然環境保全法と自然環境保全基本方針の改定 ②新たな時代の国立公園に向けて	①山本麻衣（自然環境計画課保全再生調整官） ②中島治美（国立公園課総括課長補佐）
令和元 第 2 回	R1/11/13 NECTA 会議室	①正確な環境 DNA 分析を行うために ②環境 DNA をとりまく実務者の状況について ③環境 DNA の取組み事例報告	①源利文（神戸大学大学院人間発達環境学研究科） ②澤樹征司（建設技術研） ③横田和弥（パシコン）
令和 3 第 1 回	R3/11/5 NECTA 会議室 オンライン併用	テーマ：自然再生事業のあり方 「生態系スチュワードシップと自然再生」	鷲谷いつみ（東京大学名誉教授、NECTA 研究顧問）
令和 3 第 2 回	R3/12/15 NECTA 会議室 オンライン併用	①OECM のあり方に関する国内での検討状況について ②国外における OECM の検討状況	①羽井佐幸宏（自然環境計画課調整官） ②柏原聡（いであ）
令和 3 第 3 回	R4/2/22 NECTA 会議室 オンライン併用	①ポスト 2020 生物多様性枠組と次期生物多様性国家戦略の検討について ②生物多様性地域戦略策定の手引きの検討状況	①中澤圭一（生物多様性戦略推進室長） ②増澤直（地域環境計画）
令和 4 第 1 回	R4/10/25 NECTA 会議室 オンライン併用	テーマ：自然環境分野を舞台にした AI の活躍 ① AI を用いた植生予測モデルの開発とかかわまちづくり等での VR の活用事例 ② 生物同定 AI アプリの開発～アプリを用いた市民参加型生物多様性モニタリング ◆総合ディスカッション＜自然環境分野での AI の実装に向けた取組について＞	①藤村善安（日本工営）、佐藤隆洋（日本工営） ②藤木庄五郎（（株）バイオーム代表取締役）
令和 4 第 2 回	R4/11/22 NECTA 会議室 オンライン併用	テーマ：30by30 目標達成に向けた保護地域の拡充と OECM の設定	小林誠（自然環境計画課課長補佐） 藤井沙耶花（国立公園課課長補佐）
令和 4 第 3 回	R5/1/11 NECTA 会議室 オンライン併用	テーマ：外来生物対策の最新動向 ① 外来生物法改正の内容と狙い ② アメリカザリガニ対策～「対策の手引き」を核とした総合的な対策	① 水崎進介（自然環境局野生生物課外来生物対策室室長補佐） ② 橋口徹（ブレック研究所）

令和5 第1回	R5/10/20 オンライン	テーマ：自然環境保全基礎調査マスタープランの策定	・馬淵亮(自然環境局生物多様性センター統括企画官) ・宮川浩(一般財団法人自然環境研究センター研究主幹)
令和5 第2回	R5/11/29 NECTA 会議室 (オンライン併用)	テーマ：生物多様性地域戦略の新しい視座ネイチャーポジティブに向けて ① 「地域からのネイチャーポジティブ実現に向けて」 ② 「東京都生物多様性地域戦略について」	① 松永暁道(環境省生物多様性戦略室補佐) ② 青山一彦(東京都自然環境部計画担当課長)
令和5 第3回 (一般公開)	R6/2/28 NECTA 会議室 (オンライン併用)	テーマ：自然再生事業 ① 「蒜山地域自然再生全体構想の策定について」 ② 「自然再生の『経済活動化』を見据えた蒜山自然再生協議会の取り組み」	① 松永香織(パシフィックコンサルタンツ) ② 千布拓生(蒜山自然再生協議会事務局) 総評コメンテーター： ・日置佳之(蒜山自然再生協議会会長・鳥取大学名誉教授)
令和6 第1回 (一般公開)	R6/12/4 NECTA 会議室 (オンライン併用)	テーマ：自然共生サイト ・企業のネイチャーポジティブ経営に向けた自然共生サイトの活用可能性 ・生物多様性評価に関わるモニタリング技術と自然共生サイトへの応用	中川考介(パシフィックコンサルタンツ) 石川奏太(サンリット・シーディングス(株)代表取締役)
令和6 第2回	R6/12/16 NECTA 会議室 (オンライン併用)	テーマ：ネイチャーポジティブ経済の動向 ◆総合ディスカッション	・大澤隆文(環境省生物多様性主流化室) ・岡本光之(肥後銀行理事) ・菊池淳子(日本工営サステナビリティデザイン室長) ・瀬口雄一(建設技術研究所大阪本社環境部主任技師長)
令和6 第3回	R6/1/20 NECTA 会議室 (オンライン併用)	テーマ：長距離自然歩道の今とこれから ① 東海自然歩道の活性化の方向性 ② みちのく潮風トレイルにおける管理運営の実際と課題 ◆総合ディスカッション 神田修二(企画運営委員長)	① 佐々木真二郎(環境省自然環境局 国立公園利用推進室長) ② 相澤久美(認定NPO法人みちのくトレイルクラブ事務局長・常務理事)

3. 自然環境共生技術研究会（CoNECT）開催実績＜環境省・NECTA 共催＞

回	開催日等	講演・セッション名	表彰受賞（※）発表タイトル
第1回	平成30年 7月 19・20日 環境省新宿御苑 インフォメーション センター 2F 108名参加	○基調講演Ⅰ：鳥居敏男審議官 「第5次環境基本計画について」 ○基調講演Ⅱ：小川紀一郎NECTA 理事 「技術者の心構えと研究会への期待」 1. 外来種対策 2. 野生生物管理 3. モニタリング・情報管理 4. 国立公園・施設整備	・「吉野熊野国立公園大台ヶ原におけるニホンジカの管理について」 関貴史（吉野事務所） ・「国指定七ツ島鳥獣保護区におけるアナウサギ根絶に向けた取り組み」 房村拓矢（中部事務所） ・「航空レーザ測深機を活用した藻場干潟サンゴ礁等重要生態系把握手法」 五島幸太郎（アジア航測） ・「バイオロジカル・ソイル・クラストを活用した浸食防止及び自然侵入促進工」 富坂峰人（日本工営）
第2回	令和元年 7月 18・19日 中央合同庁舎5号館19階会議室 119名参加	1. 政策評価 2. 植生回復 3. 保全・管理 4. 防除 5. 公園整備 6. モニタリング・環境情報 ○特別講演：「気候変動適応策としてのグリーンインフラ活用」西廣淳氏（国立環境研究所）	・「ICT（情報通信技術）を活用した火打山登山者への情報発信のためのスマートフォンアプリ「火打やまナビ」の開発」 山本豊（妙高高原事務所） ・「生物多様性分野における気候変動への適応」 蔵本洋介（多様性戦略室）/小熊宏之（国環研） ・「情報通信技術を活用した生物モニタリング」立松俊和氏（パシフィックコンサルタンツ） ・「大山隠岐国立公園に近接する飲料水工場の緑化」 高橋五月（西武造園）
第3回	令和2年 11月 17・18日 オンライン形式 220名参加	1. 保全管理事業 2. 広域計画 3. 情報整備 4. 管理運営 5. 施設整備 ○特別講演：「グリーンインフラとしての生態系の管理と保全」鎌田磨人氏（徳島大学大学院）	・「西表島の自然環境保全のための適正な観光管理に向けた取組」 竹内康進（西表事務所） ・「シェルパ族による登山道修繕作業」 岸秀蔵（上信越高原事務所） ・「やんばる国立公園の地生態学図の作成とその活用について」 増澤直（地域環境計画） ・「自然公園等施設における最新事例と新技術の紹介」 関口準紀（ラスコジャパン）
第4回	令和3年 6月 14・15日 オンライン形式 312名参加	1. 野生生物管理 2. モニタリング・データ共有 3. 固有種保全・外来種対策 4. 計画・維持管理 5. 施設整備 ○特別講演：「小さな自然再生とオープンなデータと緩やかな保護区」三橋弘宗氏（兵庫県立人と自然の博物館）	・「奄美大島におけるマングース根絶確認と防除完了に向けた取組」 阿部慎太郎（奄美群島事務所） ・「京都御苑における雨庭整備」 馬庭康太（京都御苑事務所） ・「水陸両用藻刈り船を用いた滋賀県琵琶湖の水草・外来種除去および琵琶湖を核とした資源循環について」 依田麻友子（西武造園） ・「環境に配慮した再生可能エネルギー導入検討に向けた藻場分布図作成」 和田夏海（アジア航測）

第5回	令和4年 6月 23・24日 日比谷図書文化館 (実会場) +オンライン併用 ハイブリッド形式 218名参加	1. 計画策定・合意形成 2. 環境調査・モニタリング 3. 野生生物管理① 4. 野生生物管理② 5. 施設整備 ○特別講演：「地域循環共生圏と生態系減災」一ノ瀬友博氏（慶応義塾大学 環境情報学部）	・「阿蘇草原再生の新ステージ～科学的知見を活用した新たな草原の維持管理の仕組みづくり～」 山下淳一（阿蘇くじゅう事務所） ・「海ワシ類のバードストライクの対策について」 福田真（野生生物課） ・「環境 DNA 分析による魚類相調査結果を精査するための「MiFish 法に係る誤同定チェックシート」について」 中村匡聡（いであ） ・「Eco-DRR の社会実装に向けた生態系保全・再生ポテンシャル評価のためのフレームワーク」 中川考介，小笠原奨悟（パシフィックコンサルタンツ）
第6回	令和5年 6月 29・30日 TKP 新橋カンファレンスセンター(実会場) + オンライン併用ハイブリッド形式 278名参加	■特定セッション 1. ネイチャーポジティブ経済 2. 30by30、自然活用地域づくり ○特別講演：「ネイチャーポジティブの実現にむけた課題」中静透氏（森林研究・整備機構理事長） ■一般セッション 1. 自然環境調査・管理 2. 国立公園、地域づくり 3. 野生鳥獣・外来生物対策	・「阿蘇くじゅう国立公園における草原再生活動と民間企業との連携 ～共創価値による連携の構築～」 下田耕一郎（九州地方環境事務所国立公園課） ・「白山国立公園における外来植物対策（白山生態系維持回復事業）について」 内田清隆（中部地方環境事務所） ・「沖縄島北部（やんばる地域）の二次林における生物多様性調査とモニタリング手法の検討」 笠原岳洋（プレック研究所） ・「民間企業の伴走支援から見えた自然共生サイトへの期待と課題」 阿部まゆ子、増澤直（地域環境計画）
第7回	令和6年 6月 20・21日 TKP 新橋カンファレンスセンター(実会場) + オンライン併用ハイブリッド形式 282名参加	■特定セッション 1. 国立公園管理 2. 公園現場の運営事例 ○特別講演：「共創時代における国立公園管理に向けて」下村彰男氏（NECTA 副会長） ■一般セッション 1. 政策ツール 2. センサー活用 3. 生物管理 4. 自然公園整備管理	・「基礎自治体に対してネイチャーポジティブ関連施策の具体的展開を促す際の技術的手法」 羽井佐幸宏（東北地方事務所） ・「川湯集団施設地区におけるまちづくり」 吉武智哉（阿寒摩周国立公園事務所） ・「やんばる国立公園におけるロードキル対策」 杉本嵩臣（いであ） ・「登山道整備における DX の取組み紹介」 鈴木太郎（アジア航測）

自然環境局長賞、同奨励賞、自然環境共生技術協会会長賞、同奨励賞の順

4. 調査研究活動等実績
(自然環境共生技術フォーラム設立以降)

年度	調査研究活動名等	研究成果等
平成 14	自然再生事業可能性箇所調査※	「自然再生事業可能性箇所調査の結果について」(平成 15 年 5 月)
	自然再生事業可能性箇所調査 (受託)	
平成 15	自然再生技術に関する研究課題の整理と優先的研究課題の抽出※	
	自然再生施策の現状と今後の研究課題に関する調査 (受託)	「自然再生施策の現状と今後の研究課題に関する調査」
	3 省庁 8 部局が実施する自然再生施策勉強会 (受託)	「各省庁における自然再生の施策について」
	自然景観地における登山道整備マニュアル作成 (受託)	「自然とのふれあい技術研究会資料集 (1) —自然景観地における登山道整備のあり方について—」
平成 16	自然再生事業ガイドラインの作成※ ①順応的管理手法に関する事業の進め方に関する調査研究 ②事業評価 (生態系評価及び社会的評価) の手法に関する調査検討 ③自然再生技術の実施事例に関する調査研究	「自然再生事業の進め方に関する研究について」(平成 17 年 6 月)
	自然歩道、園路の計画設計手法※	
	平成 16 年度自然再生事業基本調査 (受託)	「自然再生事業の進め方に関する研究について」
	平成 16 年度自然公園等事業技術指針の一部改訂 (園路整備) (受託)	
	環境省が実施している自然再生事業の事例研究 (受託)	「自然再生事業への取り組みについて」(平成 17 年 6 月)
平成 17	自然再生事業ガイドラインの作成 (継続) ※	
	自然景観地における探勝路整備のあり方※	
	平成 17 年度地域参加型協議会方式ガイドライン骨子の作成 (自然公園等事業調査) (受託)	「自然公園等事業における社会的評価に関する研究について」
	平成 17 年度自然公園等事業技術指針の一部改訂 (探勝路整備) (受託)	
平成 18	自然再生事業ガイドラインの作成 (継続) ※	
	自然再生事業ガイドラインとりまとめ※	
	自然公園内施設 (土木系) の維持管理・安全性のあり方※	
	平成 18 年度自然公園施設維持管理等方針策定調査業務 (受託)	

	平成 18 年度自然再生実施状況把握（受託）	欧米の自然再生事業の事例について
	平成 18 年度自然再生技術情報整備調査（受託）	
	自然再生事業ガイドラインの作成（継続）※	
	広域的視点に基づく自然再生のあり方（エコロジカルネットワーク）※	
	自然公園内施設の点検マニュアル、樹木の安全点検と管理※	
平成 19	平成 19 年度自然公園屋外施設に関する点検・保守検討調査（受託）	自然景観地における屋外施設の保守・点検について
	平成 19 年度自然再生課題検討調査（受託）	
	平成 19 年度広域的視点に基づく自然再生推進のあり方に関する検討調査（受託）	
平成 20	広域的視点に基づく自然再生のあり方（エコロジカルネットワーク）※	
	全国の野営場の現状と直轄野営場の課題※	
	平成 20 年度自然公園等事業技術指針の一部改訂（野営場再整備等）調査検討（受託）	
	平成 20 年度長距離自然歩道点検・計画指針等検討（受託）	平成 20 年度長距離自然歩道点検・計画指針等について
	平成 20 年度広域的視点に基づく自然再生推進のあり方に関する調査検討（受託）	
平成 21	長距離自然歩道、海のふれあい施設、海域公園利用のあり方※	
	平成 21 年度自然再生事業の評価に関する検討（受託）	
平成 22	丘陵地の植生※	
	キタサンショウウオの存続可能性分析及び生息適地解析※	
	企業による森林再生・活用のあり方※	
	長距離自然歩道、自然公園等施設の長寿命化、海の自然とのふれあい※	
	平成 22 年度自然再生事業の効果把握と参加促進に関する検討（受託）	
	平成 22 年度長距離自然歩道標識整備標準指針調査検討（受託）	
	平成 22 年度自然公園等事業技術指針改定調査（受託）	
平成 23	企業による森林再生・活用のあり方※	
	長距離自然歩道、自然公園等施設の長寿命化、海の自然とのふれあい※	
	平成 23 年度自然公園等事業技術指針改訂調査（受託）	
	平成 23 年度自然再生事業における環境学習の実施手法に関する検討（受託）	
	平成 23 年度長距離自然歩道基盤情報整理（受託）	
平成 24	英文自然再生技術図書の作成及び国際会議での普及啓発活動（地球環境基金助成金事業）	

	生物多様性 COP11 (H24. 10-19、インド) 代表団派遣、サイドイベント開催 (地球環境基金助成金事業)	NECTA 代表団派遣 (平成 24 年 10 月 7~13 日)、サイドイベント開催 (10 月 12 日)
	企業による森林再生・活用のあり方※	
	ビジターセンター※	
	平成 24 年度自然公園等施設における長寿命化技術指針の策定等調査検討 (受託)	
	平成 24 年度自然再生基本方針の見直し検討 (受託)	
平成 25	自然再生事業促進手引書作成及びアジア国立公園会議等でのサイドイベント開催等普及啓発活動 (地球環境基金助成金)	NECTA 代表団派遣 (平成 25 年 11 月 13~17 日)、サイドイベント開催 (11 月 14 日)
	企業による森林再生・活用のあり方※	
	ビジターセンター※	
	平成 25 年度木道整備に関する技術基準 (受託)	
	平成 25 年度自然再生事業実施円滑化検討 (受託)	
	平成 25 年度自然再生基本方針見直しに向けたシンポジウム開催 (受託)	
	平成 25 年度国立公園等整備事業の適切な執行に関する懇談会運営委託業務 (受託)	
平成 26	平成 25 年度土木工事積算基準に関する調査委託業務 (受託)	
	生物多様性条約 COP12 (韓国) (自主参加)	COP12 (韓国) 自主参加 (平成 26 年 10 月 6~17 日)
	企業による森林再生・活用のあり方に関する自主研究報告書作成※	「企業による森林再生・活用のあり方に関する自主研究報告書—飯能・西武の森の取り組み事例から—」(平成 26 年 7 月)
	ビジターセンター※	
	平成 26 年度多言語対応に関する技術基準 (受託)	
	平成 26 年度国立公園等事業の品質確保懇談会運営 (受託)	
平成 27	平成 26 年度自然再生事業普及啓発資料作成 (受託)	
	自然公園利用誘導及び自然ふれあい体験フィールドあり方検討※	
	利用施設の高度化※	
	平成 27 年度自然公園等施設技術指針 (ビジターセンター) (受託)	
平成 28	平成 27 年度「つなげよう、支えよう森里川海プロジェクト」意見交換会開催業務 (受託)	
	自然再生と気候変動適応※	
	(仮題) 自然再生事業の課題整理と今後の展開に向けた検討※	
	『(仮称)「小さな自然再生」の現状把握』研究レポート作成	
	自然公園利用誘導及び自然ふれあい体験フィールドあり方検討※	

	利用施設の高度化※	
	平成 28 年度自然公園等施設技術指針（ビジターセンターの基本計画）検討調査業務（受託）	
	平成 28 年度情報通信技術活用標識事例調査業務（受託）	
	平成 28 年度小さな自然再生に関する基礎調査業務（受託）	
平成 29	自然再生と気候変動適応※	
	自然公園利用誘導及び自然ふれあい体験フィールドあり方検討※	
	利用施設の高度化※	
	平成 29 年度自然公園等施設技術指針（ビジターセンターの設計）検討調査業務（受託）	
	平成 29 年度自然公園等工事施工管理基準（自然公園編）検討調査業務（受託）	
平成 30	「自然環境分野における気候変動適応に寄与する技術・事例集」（自主研究成果）の発行	「自然環境分野における気候変動適応に寄与する技術・事例集」（平成 31 年 3 月）
	生物多様性地域戦略の策定状況と課題の整理※	
	利用施設の高度化※	
	国立公園野営場事業に係る改善方針検討について※	
	平成 30 年度自然公園等施設技術指針（野営場）（受託）	
	平成 30 年度自然公園等施設技術指針（侵入防止柵）（受託）	
	平成 30 年度自然再生の普及啓発に向けた先進事例等情報整理調査業務（受託）	
	平成 30 年度自然環境共生技術研究会開催等業務（受託）	
令和元	「自然再生推進法基本方針」の見直し（5 年毎）にかかる意見具申検討、環境省・NPO 意見交換会出席	
	生物多様性地域戦略の策定状況と課題の整理※	
	ユニバーサルデザインの推進の課題について※	
	公共標識のあり方について※	
	令和元年度自然公園等施設技術指針（公共標識）（受託）	
	令和元年度自然再生推進制度及び取組等概要紹介パンフレット改訂検討等業務（受託）	
令和 2	生物多様性地域戦略のプラットフォーム化の考え方の検討※	
	気候変動×防災、新技術の活用について※	
	令和 2 年度自然公園等施設技術指針（気候変動×防災、新技術の活用）検討調査業務（受託）	
	令和 2 年度自然公園等工事積算基準（自然公園編）検討等調査業務（受託）	
令和 3	生物多様性地域戦略のプラットフォーム化の考え方の検討※	
	庭から始まる生物多様性（実施計画策定）	
	施設の長寿命化について※	
	令和 3 年度自然公園等施設技術指針（気候変動×防災、新技術の活用）検討調査業務（受託）	
	令和 3 年度長距離自然歩道における生態系ネットワーク整理等業務（受託）	

令和 4	生物多様性地域戦略のプラットフォーム化の考え方の検討※	
	庭から始まる生物多様性※	
	施設整備のゼロカーボン・脱炭素の研究※	
	施設整備の基準の研究※	
	施設整備の新事例の収集・整理※	
	令和 4 年度自然公園等工事積算基準（自然公園編）検討調査業務（受託）	
令和 5	パブリックスペースとプライベートスペースをつなぐ生物多様性～庭から始まる生物多様性～※	
	生物多様性地域戦略のプラットフォーム化の考え方の検討※	
	施設整備の基準の研究※	
	施設整備の新事例の収集・整理※	
	自然再生の取組み達成状況の把握※	
	令和 5 年度自然公園等整備工事単価に係る調査検討業務（受託）	
	令和 5 年度自然公園等事業評価システム改善業務（受託）	
	令和 6 年度自然環境共生技術研究会開催等業務（受託）	

※自主研究テーマ

5. 報告書・講演録・資料集等発行実績

1. 平成 15 年度技術士第 1 次試験・第 2 次試験「環境部門：自然環境保全・環境保全計画」講習会テキスト（平成 15 年 4 月）
2. 自然再生事業可能性箇所調査の結果について報告書（平成 15 年 5 月）
3. 講演録 第 1 回～第 5 回（平成 15 年 10 月）
4. 各省庁における自然再生の施策について報告書（平成 16 年 2 月）
5. 平成 16 年度技術士第 2 次試験「環境部門：自然環境保全」講習会テキスト（平成 16 年 4 月）
6. 自然再生施策の現状と今後の研究課題に関する調査報告書（平成 16 年 7 月）
7. 自然とのふれあい技術研究会資料集（1）—自然景観地における登山道整備のあり方について—（平成 16 年 8 月）
8. 会員会社保有 自然再生環境共生技術資料集（平成 16 年 9 月）
9. シンポジウム第 1 回「自然と共生する社会づくり」報告書（平成 17 年 2 月）
10. 自然再生事業の進め方に関する研究について報告書（平成 17 年 6 月）
11. 自然再生事業への取り組みについて報告書（平成 17 年 6 月）
12. 講演録 第 7 回～第 8 回（平成 17 年 8 月）
13. 「自然再生 釧路から始まる」図書の共同編集（発行 平成 16 年 7 月 20 日 ぎょうせい）
14. 平成 17 年度技術士第 2 次試験「環境部門：自然環境保全」講習会テキスト（平成 17 年 4 月）
15. 講演録 第 9 回（平成 17 年 11 月）
16. 講演録 特別講演会（平成 17 年 11 月）「千葉環境再生基金の仕組みと成果」ほか
17. 技術発表会第 1 回「自然と共生する社会づくり」報告書（平成 18 年 5 月）高橋裕、中村太士ほか
18. 講演録 第 10 回（平成 18 年 5 月）
19. 講演録 第 11 回（平成 18 年 6 月）
20. 平成 18 年度技術士第 2 次試験「環境部門：自然環境保全」講習会テキスト（平成 18 年 6 月）
21. 自然公園等事業における社会的評価に関する研究について報告書（平成 18 年 7 月）
22. 講演録 第 12 回（平成 18 年 9 月）
23. 会員会社保有 自然再生環境共生技術資料集（第 2 集）（平成 18 年 11 月）
24. シンポジウム第 2 回「自然と共生する社会づくり—人と自然とのかかわり—」報告書（平成 19 年 3 月）
25. 講演録 第 13・14 回（平成 19 年 6 月）
26. 平成 19 年度技術士第 2 次試験「環境部門：自然環境保全」講習会テキスト（平成 19 年 6 月）
27. 「よみがえれ自然—自然再生事業ガイドライン—」図書の出版（発行 平成 19 年 11 月 1 日（株）環境コミュニケーションズ）
28. 講演録 特別講演会（平成 19 年 12 月）
29. 欧米の自然再生事業の事例について報告書（平成 20 年 1 月）
30. シンポジウム第 3 回「自然と共生する社会づくり—よみがえれ自然～自然再生事業ガイドライン～」報告書（平成 20 年 6 月）
31. 平成 20 年度技術士第 2 次試験「環境部門：自然環境保全」講習会テキスト（平成 20 年 6 月）
32. 講演録 第 15 回（平成 20 年 12 月）
33. 講演録 特別講演会（平成 20 年 12 月）
34. 「自然景観地における屋外施設の保守・点検について」報告書（平成 21 年 2 月）
35. 平成 21 年度技術士第 2 次試験「環境部門：自然環境保全」講習会テキスト（平成 21 年 6 月）
36. 講演録 第 16 回（平成 21 年 10 月）
37. 講演録 特別講演会（平成 21 年 11 月）
38. 講演録 特別講演会（平成 21 年 12 月）

39. 平成 22 年度技術士第 2 次試験「環境部門：自然環境保全」講習会テキスト(平成 22 年 6 月)
40. 「長距離自然歩道の点検・計画指針等について」報告書(平成 23 年 6 月)
41. 平成 23 年度技術士第 2 次試験「環境部門：自然環境保全」講習会テキスト(平成 23 年 6 月)
42. 講演録 特別講演会(平成 23 年 6 月)「東日本大震災の教訓」高橋 裕 名誉会長
43. 講演録 特別講演会(平成 23 年 9 月)「知床、小笠原から琉球へ～世界遺産に向けて」渡邊 綱男 環境省自然環境局長
44. 平成 23 年度自然再生事業における自然環境学習の実施手法に関する検討業務報告書(平成 24 年 3 月)
45. 平成 24 年度技術士第 2 次試験「環境部門：自然環境保全」講習会テキスト(平成 24 年 6 月)
46. A Guide to Nature Restoration / Reviving Nature's Legacy(平成 24 年 10 月)
47. 講演録 特別講演会(平成 24 年 9 月)「東北、奄美、国立公園」小野寺浩 元環境省自然環境局長
48. 平成 25 年度技術士第 2 次試験「環境部門：自然環境保全」講習会テキスト(平成 25 年 4 月)
49. 講演録 特別講演会(平成 25 年 6 月)「生物多様性国家戦略 2012-2020」と今後の課題ーめぐみの星に生きる 星野一昭 環境省大臣官房審議官
50. 講演録 特別講演会(平成 25 年 9 月)「砂防の役割」岡本正男 砂防学会会長・全国治水砂防協会理事長
51. 平成 25 年度自然公園等における木道整備に関する技術基準調査委託業務報告書(平成 26 年 3 月)
52. 平成 26 年度技術士第 2 次試験「環境部門：自然環境保全」講習会テキスト(平成 26 年 6 月)
53. 講演録 特別講演会(平成 26 年 6 月)「森林飽和 国土の変貌を考える」太田猛彦 東京大学名誉教授
54. 報告書 企業による森林再生・活用のあり方に関する自主研究報告書ー飯能・西武の森の取り組み事例からー(平成 26 年 7 月) 生物多様性技術研究会
55. 講演録 特別講演会(平成 26 年 9 月)「再生可能エネルギーの活用について」土居健太郎 環境省地球環境局地球温暖化対策課長
56. The Development of National Parks and Protected Areas around the World (Masaaki Yui, October 2014)
57. 平成 27 年度技術士第 2 次試験「環境部門：自然環境保全」講習会テキスト(平成 27 年 5 月)
58. NECTA10 周年記念シンポジウム報告書(平成 27 年 6 月)
59. 講演録 特別講演会(平成 27 年 6 月)第二次大戦後の水害と治水(国際科学技術財団 第 31 回日本国際賞 Japan Prize 受賞記念)
60. 講演録 特別講演会(平成 27 年 9 月)「つなげよう、支えよう森里川海プロジェクト」鳥居 敏男 環境省自然環境局自然環境計画課長
61. 平成 28 年度技術士第 2 次試験「環境部門：自然環境保全」講習会テキスト(平成 28 年 5 月)
62. 講演録 特別講演会(平成 28 年 6 月)「人口減少、気候変動下におけるグリーンインフラー生物多様性・防災・社会的価値評価ー」中村太士 北海道大学教授(NECTA 研究顧問)
63. 講演録 特別講演会(平成 28 年 9 月)「自然環境行政の最新動向について」亀澤玲治 環境省自然環境局長
64. 平成 29 年度技術士第 2 次試験「環境部門：自然環境保全」講習会テキスト(平成 29 年 5 月)
65. 講演録 特別講演会(平成 29 年 6 月)「ESD から SDGs へ～環境教育的視座で 21 世紀の今を

俯瞰する」若林千賀子 若林環境教育事務所代表

66. 講演録 特別講演会（平成 29 年 9 月）「自然環境分野における気候変動適応について」中澤圭一 環境省自然環境局自然環境計画課生物多様性戦略推進室長
67. 平成 30 年度技術士第 2 次試験「環境部門：自然環境保全」講習会テキスト（平成 30 年 5 月）
68. 講演録 特別講演会（平成 30 年 6 月）「サルはなぜ山を下りる？野生動物との共生」室山泰之 東洋大学経営学部教授
69. 講演録 特別講演会（平成 30 年 9 月）「自然環境行政の最新動向について」鳥居敏男 環境省大臣官房審議官
70. 報告書 「自然環境分野における気候変動適応に寄与する技術・事例集」（平成 31 年 3 月）
71. 令和元年度技術士第 2 次試験「環境部門：自然環境保全」講習会テキスト（令和元年 5 月）
72. 講演録 特別講演会（令和元年 6 月）「自然再生とその人材育成」日置佳之 鳥取大学教授
73. 講演録 特別講演会（令和元年 9 月）「自然環境行政の最新動向について」鳥居敏男 環境省自然環境局長
74. 令和 2 年度技術士第 2 次試験「環境部門：自然環境保全」講習会テキスト（令和 2 年 5 月）
75. 令和 3 年度技術士第 2 次試験「環境部門：自然環境保全」講習会テキスト（令和 3 年 5 月）
76. 講演録 特別講演会（令和 3 年 8 月）「2022 年の自然公園-公園法改正、アフターコロナ、ポスト 2020」愛甲哲也 北海道大学准教授
77. 令和 4 年度技術士第 2 次試験「環境部門：自然環境保全」講習会テキスト（令和 4 年 5 月）
78. 講演録 特別講演会（令和 4 年 6 月）「最近の自然環境保全（ふれあいを含む）の動向について」下村彰男 國學院大学教授（NECTA 副会長）
79. 講演録 特別講演会（令和 4 年 9 月）「自然環境行政の最新動向について」堀上勝 自然環境計画課長
80. 令和 5 年度技術士第 2 次試験「環境部門：自然環境保全」講習会テキスト（令和 5 年 5 月）
81. 講演録 特別講演会（令和 5 年 6 月）「復活した希少ガンと共生した水田農業がめざす、湿地機能の向上」呉地正行 日本雁を保護する会 会長
82. 講演録 特別講演会（令和 5 年 9 月）「環境行政の最新動向について」則久雅司 自然環境計画課長
83. 令和 6 年度技術士第 2 次試験「環境部門：自然環境保全」講習会テキスト（令和 6 年 5 月）
84. 講演録 特別講演会（令和 6 年 5 月）「気候変動とグリーンインフラ・ネイチャーポジティブの主流化」中村太士 北海道大学名誉教授
85. 講演録 特別講演会（令和 6 年 9 月）「自然環境行政の最新動向について」番匠克二 自然環境計画課長

6. NECTA 技術情報＜自然公園財団「国立公園誌」連携＞ 2015 年～

NECTA 会員社の技術者が執筆し「国立公園」誌に掲載された自然環境共生技術に係る技術情報について、自然公園財団の協力をいただき NECTA ホームページで全文を公開しています。

自然環境保全・調査技術

帰化植物によるモニタリング調査技術と対策への応用について

(株) 愛植物設計事務所 趙賢一 Vol. 731 (2015. 3)

コウモリ類の行動圏把握のための調査手法（ラジオテレメトリー法による調査事例）

パシフィックコンサルタンツ (株) 麻田昌克 Vol. 741 (2016. 3)

レーダによる鳥類の飛翔調査技術について

F R S コーポレーション (株) 平山明 Vol. 752 (2017. 4)

自然公園計画の素案作成と合意形成

(株) 環境総合テクノス 山内昌之 Vol. 753 (2017. 5)

各種カメラを使用した生物調査

(株) 東京建設コンサルタント 清水孝 Vol. 754 (2017. 6)

三陸復興国立公園における道路建設事業と環境保全の取り組み

(株) ドーコン 櫻井善文 Vol. 757 (2017. 10)

国立公園における自然環境調査での無人航空機(ドローン)の活用

(株) 地域環境計画 佐々木孝太郎 Vol. 763 (2018. 5)

航空レーザー測量成果を活用したシカの影響調査について

アジア航測 (株) 後藤和郎 Vol. 766 (2018. 9)

船舶レーダを用いたコウモリ類の飛翔状況調査方法の開発

いであ (株) 益子理 Vol. 768 (2018. 11)

動物侵入防止柵（動物から守る柵、動物を守る柵）

快工房 (株) 水越裕 Vol. 769 (2018. 12)

トレイルカメラの特徴と新たな活用の方法

(株) 地域環境計画 井上剛 Vol. 774 (2019. 6)

環境 DNA 分析の自然公園への活用の展望

(株) 北海道技術コンサルタント 齋藤敦子 Vol. 780 (2020. 1)

UAV レーザーを使用した生物調査の展開

FRS コーポレーション (株) 山口裕司 Vol. 781 (2020. 2)

地域在住の民間有識者との協力関係づくり(二次的自然地域に生息する絶滅危惧種調査を通じて)

(株) メッツ研究所 岩野温子 Vol. 783 (2020. 5)

公園樹木管理における地上 SLAM レーザ機器による三次元計測の可能性

アジア航測 (株) 横田潤一郎 Vol. 785 (2020. 7)

沖縄の外来種問題と対策（主に哺乳類・爬虫類・両生類について）

八千代エンジニアリング (株) 中川雅允 Vol. 786 (2020. 9)

アマミノクロウサギの糞由来の DNA を用いた個体数推定

いであ（株） 中村圭太 Vol. 788 (2020. 11)

やんばる国立公園の地生態学図の作成とその利用

（株）地域環境計画 増澤 直 Vol. 792 (2021. 4)

環境 DNA 分析技術による水域の生物調査

（株）建設環境研究所 加藤真司 Vol. 794 (2021. 6)

衛星画像解析による全国藻場分布調査「藻場調査（2018～2020 年度）」について

アジア航測（株） 市橋 理 Vol. 797 (2021. 10)

エコツーリズムによる自然資源の保全と活用

（株）地域環境計画 千々岩 哲 Vol. 798 (2021. 11)

AI による画像解析技術を用いたコウノトリの行動観察

中央復建コンサルタンツ（株） 山内 寛 Vol. 799 (2021. 12)

建設事業における馴化を活用した希少猛禽類の保全技術

（株）ドーコン 土門優介 Vol. 800 (2022. 1)

地熱発電の推進に向けた取り組みの紹介

パシフィックコンサツタンツ（株） 鬼久保 浩正 Vol. 806 (2022. 9)

阿蘇草原再生協議会における GIS データの整備と活用促進

（株）メッツ研究所 白石海弥 Vol. 813 (2023. 5)

MaxEnt による希少種チゴモズの生息分布解析の試み（チゴモズ保護の観点からみた海岸林の保全管理の重要性）

いであ（株） 谷口裕紀 Vol. 816 (2023. 9)

白山国立公園における企業としての取り組み（外来植物対策での事例紹介）

アルスコンサルタンツ（株） 稲葉弘之 Vol. 817 (2023. 10)

再生可能エネルギー施設の環境アセスメント支援

（株）建設環境研究所 加藤真司 Vol. 818 (2023. 11)

環境省による自然共生サイトへの認定申請を通じて

内山緑地建設（株） 関根武・山室功 Vol. 819 (2023. 12)

ブルーカーボン評価のための海洋観測技術

（株）KANSO テクノス 長沼元・杉山貴紀 Vol. 820 (2024. 1)

流域生態系ネットワークの定量評価モデルの開発

（株）建設技術研究所 渡邊敬史 Vol. 821 (2024. 3)

「軽井沢 72 ゴルフ」ABINC ゴルフ場版認証取得

西武造園（株） 江川将博 Vol. 823 (2024. 5)

名古屋市における生態系に重要な場所の可視化および自然共生サイトの申請

日本工営（株） 野寄弘道 Vol. 826 (2024. 9)

自然共生サイトにおける指標昆虫を用いた簡便なモニタリング手法

（株）プレック研究所 村田和彦 Vol. 831 (2025. 3)

自然再生・緑化技術

国立公園内湖沼における自然再生事業への生態学的手法の適用

いであ（株） 幸福智 Vol. 732 (2015. 4)

「表土ブロック移植工法」の紹介

西武造園（株） 柳野遼介 Vol. 736 (2015. 9)

景観および生物多様性に配慮した法面緑化の試み（種差海岸インフォメーションセンターにおけるシバの植栽）

（株）プレック研究所 伴邦教・関元聡 Vol. 743 (2016. 5)

水際のエコトーンをバープでつくる

（株）北海道技術コンサルタント 岩瀬晴夫 Vol. 744 (2016. 6)

自然公園内におけるのり面緑化工法（自然堆積土客土吹付工法）

むつみ造園土木（株） 三浦顯兒 Vol. 745 (2016. 7)

阿蘇草原再生と合意形成

（株）メッツ研究所 石原京子 Vol. 746 (2016. 9)

ネコヤナギによる護岸緑化工法（ネコヤナギ・エコ工法）

内山緑地建設（株） 吉岡威 Vol. 749 (2016. 12)

BSC（バイオロジカル・ソイル・クラスト）を活用した植生の自然侵入促進工法

日本工営（株） 加藤靖広 Vol. 758 (2017. 11)

白山国立公園における湿原の復元とモニタリング調査

アルスコンサルタント（株） 稲葉弘之 Vol. 767 (2018. 10)

大台ヶ原自然再生事業で設置した防鹿柵が森林生態系の保全と再生に与えた効果

（株）環境総合テクノス 樋口高志 Vol. 770 (2019. 1)

浄水場発生土有効利用技術の展開

西武造園（株） 清水遠 Vol. 772 (2019. 4)

ネットゼロウォーターによる持続可能なランドスケープの展開

（株）日比谷アメニス 坂本哲 Vol. 777 (2019. 10)

琵琶湖環境に対する当社の取り組み

西武造園（株） 河野勝 Vol. 795 (2021. 7)

奄美琉球の里地棲希少水生昆虫類に関する生息域内保全・生息地再生技術の開発

日本工営（株） 富坂峰人・城野裕介 Vol. 801 (2022. 3)

「アメリカザリガニ対策の手引き」における防除手法と留意点

（株）プレック研究所 村田和彦・橋口徹 Vol. 808 (2022. 11)

シマフクロウ生息環境の面的保全(底生魚を対象とした手作り魚道)

（株）北海道技術コンサルタント 野表結・岩瀬晴夫 Vol. 811 (2023. 3)

ドライバー目線からのロードキル対策(やんばる国立公園における野生動物事故情報の活用事例)

いであ（株） 杉本嵩臣・佐藤泰夫 Vol. 827 (2024. 10)

都市公園における生物多様性への取り組みと地域連携

（株）日比谷アメニス 河原典生・齋藤桃子 Vol. 830 (2025. 1)

自然ふれあい施設の整備・管理・運営

自然公園におけるサインの多言語対応について

（株）建設環境研究所 田中隆 Vol. 733 (2015. 5)

宮島におけるエコツーリズムの普及・定着に資する情報提供施設整備の検討

(株) 建設技術研究所 牧俊行 Vol. 734 (2015. 6)
公園内に設置した木材構造物（木橋）の維持管理について
 (株) ザイエンス 谷川充 Vol. 735 (2015. 7)
積水化学グループの環境経営と、環境貢献製品による公園施設の長寿命化・LCC低減の取組み
 積水化学工業 (株) 能勢泰祐・石島勇治 Vol. 737 (2015. 10)
火山地域における自然公園の安全利用のための調査と対策
 アジア航測 (株) 岩田彰隆 Vol. 738 (2015. 11)
ビジターセンターの魅力を高める、地域性豊かな展示づくり
 (株) 乃村工藝社 亀山裕市 Vol. 739 (2015. 12)
ヤシ繊維を使った登山道修復技術の紹介
 (株) ニュージェック 川端郁子 Vol. 740 (2016. 1)
既設キャンプ場のリニューアル事例の紹介「阿寒国立公園 和琴野営場」
 北電総合設計 (株) 赤根慶一 Vol. 742 (2016. 4)
海外事例紹介 ニュージーランドにおける自然とのふれあい施設
 神宮孝 Vol. 747 (2016. 10)
休養施設のデザインについて
 快工房 (株) 小石川康彦 Vol. 748 (2016. 11)
霊峰白山の環境整備
 アルスコンサルティング (株) 喜多祐介 Vol. 756 (2017. 9)
大規模公園における木質発生材のエネルギー活用事例
 (株) 日比谷アメニス 大西竹志 Vol. 759 (2017. 12)
富士箱根伊豆国立公園における「富士山のある風景 100 選」選定と展望地整備の取組み
 日本工営 (株) 森原百合 Vol. 760 (2018. 1)
静岡県富士山世界遺産センターにおける展示について
 (株) 丹青社 高橋久弥 Vol. 761 (2018. 3)
「自然公園施設の長寿命化の流れ」に沿って、当社の取組み
 (株) ラスコジャパン 白井良夫 Vol. 765 (2018. 7)
自然公園における木製施設の点検方法について
 (株) ザイエンス 千脇義一 Vol. 771 (2019. 3)
水族館における展示手法について
 (株) 丹青社 高柳 敦 Vol. 773 (2019. 5)
レーザー計測により収集した三次元地形データを活用した富士山頂周回線道路の危険度評価
 日本工営 (株) 田中義朗 Vol. 775 (2019. 7)
訪日観光客に伝わる、魅力的な英語解説文を目指して
 (株) 乃村工藝社 石川厚志, (有) ファンキー・コープ 佐久間成美 Vol. 776 (2019. 9)
阿蘇山上ビジターセンターにおける官民連携の事例
 (株) プレック研究所 山口朋浩 Vol. 778 (2019. 11)
廃屋解体設計事例の紹介「川湯温泉旧華の湯ホテル解体設計」
 北電総合設計 (株) 金尾和幸 Vol. 779 (2019. 12)
施設の長寿命化、気候変動による災害への減災・防災に対応した工法
 前田工織 (株) 伊藤順也・服部浩崇 Vol. 782 (2020. 4)

自然公園などでの施設の長寿命化の取り組み

(株) ラスコジャパン 白井良夫 Vol. 784 (2020. 6)

峰白山における登山道整備の考え方

アルスコンサルタンツ (株) 喜多祐介 Vol. 787 (2020. 10)

公園内の休養施設で用いられる木材の温度変化について

快工房 (株) 水越裕 Vol. 789 (2020. 12)

自然公園等施設における最新事例と新技術の紹介

(株) ラスコジャパン 関口隼紀 Vol. 790 (2021. 1)

間違った使い方から学ぶ木材の使い方・活かし方(防腐・防蟻処理編)

(株) ザイエンス 谷川充 Vol. 793 (2021. 5)

古くて新しいプラスチックの木 ～エスロンネオラバーFFUの歴史

積水化学工業 (株) 左近潮二 Vol. 796 (2021. 9)

軟岩地盤に適用する木道基礎工法 (C-LESS 基礎・軟岩適用タイプ)

前田工織 (株) 伊藤順也 Vol. 803 (2022. 5)

自然公園における山岳橋梁の設計・施行プロセス

(株) ラスコジャパン 関口隼紀 Vol. 805 (2022. 7)

屋外使用を想定したトドマツ防腐防蟻処理方法の開発について

(株) ザイエンス 重留 圭 Vol. 807 (2022. 10)

既存展示の魅力を拡張するデジタル技術 (環境省箱根ビジターセンター)

(株) 乃村工藝社 吉田雅之 Vol. 809 (2022. 12)

釧路湿原野生生物保護センター展示等改修設計

北電総合設計 (株) 小泉裕美 Vol. 810 (2023. 1)

生まれ変わる木道 磐梯朝日国立公園 雄国沼湿原 (2023. 1)

前田工織 (株) 伊藤順也 Vol. 813 (2023. 5)

急斜面地等における施設構造物の設置について

(株) ラスコジャパン 泉澤俊希 Vol. 814 (2023. 6)

国立公園における建築設計成果の紹介「大雪山国立公園 白雲岳避難小屋」

アジア航測 (株) 中陣泰之・西 知彦 Vol. 815 (2023. 7)

木材を利用した外構・土木施設の劣化診断、維持管理について

(株) ザイエンス 谷川 充 Vol. 822 (2024. 4)

急斜面地等における施設構造物の設置について(瀬戸内海国立公園灘黒岩水仙郷整備事例紹介)

(株) ラスコジャパン 土井雄気 Vol. 824 (2024. 6)

雑誌「国立公園」について

雑誌「国立公園」は、80 余年の歴史を持つ本邦唯一の自然公園専門誌で、(一財) 自然公園財団が発行しています。自然公園の最新ニュースから、調査研究や最新技術の情報、日本各地の自然保護活動や海外の国立公園事情の紹介など自然公園に関する様々な情報を掲載しています。

自然公園専門誌「国立公園」のご紹介 (自然公園財団ホームページ) <https://www.npfj.or.jp/>